

中海干拓の営農推進の概要（平成 26 年度版：2014 年/4 月）

1 中海干拓事業の概略

中海干拓事業は国営事業として昭和 38 年から行われ、中海水域内に干拓適地の 5 地区を選定し、島根県側の本庄、揖屋及び安来地区は干し上げ工法により、鳥取県側の弓浜及び彦名地区は埋立工法により新たに農地を造成する計画であった。

この干拓事業 5 地区のうち、島根県側の揖屋、安来地区及び鳥取県側の弓浜地区は平成元年度に、彦名地区は平成 3 年度にそれぞれ完了したが、本庄地区は平成 12 年 9 月に干陸中止が決定した。これに伴う周辺整備等の完了により、平成 25 年度末に国営中海土地改良事業は完了した。

【中海干拓位置図（計画当初）】



【干拓面積（島根県分）】

平成 25 年 3 月 31 日現在

地区名	地区面積 ha	公社配分地			他用途、道 路敷地、水 路敷地等 ha
		農地 ha	農業用施 設用地等 ha	ha	
揖屋	323.2	228.3	197.0	31.3	94.9
安来	203.8	138.4	103.0	35.4	65.4
計	527.0	366.7	300.0	66.7	160.3

2 中海干拓売渡・貸付状況（島根県分・公社配分地）

平成 26 年 3 月 31 日現在

地区名	農 地					農業用施設用地等		計 ha
	売渡済 ha	未売渡 ha	うち貸付			売渡済 ha	未売渡 ha	
			うち貸付 ha	農地リース ha	一時貸付 ha			
揖屋	189.0	8.0	6.1	6.1	—	23.8	7.5	228.3
安来	70.5	32.5	28.1	24.8	3.3	35.4	—	138.4
計	298.6	40.5	34.2	30.9	3.3	59.2	7.5	366.7

※農地リースは最大 10 年 ※使用貸借を除く

3 干拓営農の状況

(1) 作付けの状況

【揖屋地区】

平成25年度の作付調査結果によると、牧草（約47ha）、キャベツ（約33ha）、ブロッコリー類・花木（約6ha）、津田かぶ（5ha）の順で栽培されている。

このほか、作付準備状態のほ場が約38ha、さらに作付休閑状態のほ場は約19haあり、平成24年度に比べると減少してきているものの、依然として地区内農地の約30%を占めている。

また、近年漬物用野菜の津田かぶの需要が増加し、栽培面積が拡大傾向にある。しかし、猛暑の中での間引き作業や冷水での収穫調製作業など重労働であり、生産者の確保が課題となっている。

【安来地区】

同様の調査結果によると、牧草（約22ha）、キャベツ（約18ha）などとなっている。

また、作付準備地が15ha、作付休閑地が13haと昨年より増加している。イオンアグリ創造株式会社等の参入により地区内の生産活動は活発になってきており、作付休閑地は今後減少することが予想されるが、JAやすぎが取り組む直売所への出荷などを通じて個人所有者の作付誘導が不可欠である。

■ 作付調査結果

平成25年度中海干拓地作付状況（通年）

単位：ha

作物名	揖屋地区	中海干拓地		安来地区	合計
		旧松江市	旧東出雲町		
野菜	66.2	23.5	42.7	32.7	99.2
キャベツ	33.4	11.5	21.9	18.4	51.9
ブロッコリー	5.6	3.7	1.9	1.3	6.9
スイートコーン	2.0	0.3	1.7	0.1	2.2
津田かぶ	5.0	1.3	3.6	—	5.0
さつまいも	2.2	0.7	1.5	0.5	2.7
その他	18.0	6.0	12.1	12.4	30.4
果樹	5.4	1.9	3.5	8.5	13.9
西条柿	3.2	0.9	2.3	1.0	4.2
ぶどう	0.8	—	0.8	2.5	3.3
いちじく	0.6	0.0	0.0	0.8	1.4
その他	0.8	0.4	0.4	4.2	5.0
花き・花木	5.9	3.8	2.1	0.4	6.3
牧草	47.2	12.2	35.0	21.8	69.0
その他作物	14.1	4.8	9.3	3.8	17.8
作付準備	37.7	11.3	26.4	15.3	53.0
作付休閑	18.6	5.7	12.9	13.5	32.0
その他	7.7	0.1	7.6	32.3	40.0
計	202.8	63.3	139.5	128.3	331.1

※「その他」は会社の灌水用パイプ置場、中海干拓営農センターのため池跡地整備中の農地、暗渠排水工事圃場、ふれあい公園用地

※端数処理のため合計は合わない

■ 地区別の作付けの年次推移

【揖屋地区】

単位：ha

作物名	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
野菜	50.2	54.5	52.4	59.6	69.4	60.4	68.8	69.9	69.8	72.9	66.2
キャベツ	17.0	19.3	14.7	22.0	23.2	22.2	30.2	33.5	35.2	31.8	33.4
ブロッコリー	2.6	2.8	3.3	4.6	5.0	6.5	5.2	5.0	5.3	5.2	5.6
スイートコーン	1.0	1.6	0.7	0.8	3.6	1.8	1.1	1.0	1.1	5.0	2.0
津田かぶ	7.1	7.6	9.1	11.8	11.7	6.3	3.0	4.5	4.0	3.6	5.0
さつまいも	1.0	2.0	0.7	2.5	4.0	4.8	6.2	4.5	3.4	3.2	2.2
その他	21.5	21.2	23.9	17.9	21.9	18.8	23.1	21.4	20.8	24.0	18.0
果樹	6.9	7.4	7.2	6.8	8.6	7.2	7.8	7.2	7.6	7.0	5.4
西条柿	3.0	3.1	3.9	3.3	3.5	3.1	3.3	3.1	3.0	3.3	3.2
ぶどう	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8
いちじく	2.6	2.7	2.1	1.4	2.3	2.1	2.2	1.7	2.4	2.0	0.6
その他	0.6	0.9	0.5	1.4	2.1	1.2	1.5	1.6	1.4	0.8	0.8
花き・花木	9.5	10.1	7.8	7.8	6.8	7.6	7.1	7.4	7.6	7.9	5.9
牧草	47.2	50.5	45.8	46.0	43.3	45.3	48.9	48.2	45.0	51.8	47.2
その他作物	23.5	19.6	16.1	16.5	11.1	14.4	12.2	8.0	9.8	5.8	14.1
計	137.3	142.1	129.3	136.7	139.2	134.9	144.8	140.7	139.8	145.4	138.8
利用率	69.7%	72.1%	65.6%	69.4%	70.7%	68.5%	73.5%	71.4%	71.0%	73.8%	70.5%

※年2作されている場合は、栽培面積の広い作物でカウント

【安来地区】

単位：ha

作物名	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
野菜	9.3	10.5	9.6	8.7	9.6	8.8	8.9	11.6	17.0	25.0	32.7
キャベツ	0.4	0.2	—	0.2	0.1	0.4	—	0.0	0.1	2.4	18.4
ブロッコリー	0.5	0.1	—	—	0.1	0.1	0.1	0.0	3.2	8.3	1.3
スイートコーン	0.2	0.1	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.2	0.1
津田かぶ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
さつまいも	0.6	0.4	0.1	0.0	0.2	0.3	0.6	0.8	0.3	0.2	0.5
その他	7.6	9.7	9.5	8.5	9.2	8.0	8.2	10.8	13.4	13.9	12.4
果樹	8.1	7.9	8.3	8.7	8.6	8.7	8.9	9.1	9.3	9.5	8.5
西条柿	0.8	0.9	1.5	1.1	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9	1.1	1.0
ぶどう	3.8	3.7	3.5	3.2	2.2	2.4	2.7	2.7	3.0	2.7	2.5
いちじく	0.8	0.7	0.5	0.2	0.4	0.7	0.7	0.7	0.4	0.8	0.8
その他	2.7	2.6	2.8	4.2	4.8	4.7	4.6	4.8	5.0	4.9	4.2
花き・花木	0.6	0.5	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4
牧草	23.2	25.6	19.2	21.9	22.5	25.1	25.9	30.0	27.1	28.2	21.8
その他作物	2.7	2.9	2.7	6.9	6.1	7.2	6.3	5.5	6.5	5.3	3.8
計	43.9	47.4	40.1	46.6	47.1	50.1	50.3	56.6	60.3	68.3	67.2
利用率	55.2%	59.6%	50.4%	58.6%	59.2%	63.0%	63.3%	71.2%	75.8%	66.3%	65.2%

※年2作されている場合は、栽培面積の広い作物でカウント

※利用率の算出に用いた農地面積は、H14～H23は79.5ha、H24以降は旧中海干拓営農センターの農地を加えて103.0haである

(2) 営農推進上の課題

部分竣功（営農開始）から25年が経過し、既耕地と同様に営農者の高齢化を要因とする作付休耕地が依然として多くみられる。また、農産物の価格の低迷が続いており、営農意欲の低下を招いてい

る実態は否めない。

一方で、各地区ではJAを中心に新規就農者確保のため研修事業を実施しており、今年度から新たに営農を開始する新規就農者も現れている。

このほか、両地区には企業の参入など好材料もみられることから、作付休閑地を中心に農地中間管理事業を活用した担い手等への流動化を図る必要がある。

(3) 営農支援

県では、作物栽培、機械化体系等の調査研究、実証展示、体験研修による営農技術の向上と営農相談や経営技術研修による畑作営農の確立・安定に資するため、平成元年4月1日に中海干拓営農センターを揖屋地区に設置した。

その後、平成12年4月1日に中海干拓営農センターを安来地区に移転し、U・Iターン者などの新規就農者に対する実践型農業研修機能を付加するなど機能強化を図ってきた。

こうした中、設置から20数年を経過し、当初の目的を達したとの判断から中海干拓営農センターを廃止し、揖屋地区では東部農林振興センター松江農業普及部が、安来地区では同部安来支所が干拓地での営農支援を担っている。

(4) 新規就農者の確保

安来地区では旧中海干拓営農センターの施設を活用し、やすぎ農業協同組合が担い手支援センターを開設した。担い手支援センターは新規就農者の研修機能を持ち、松江農業普及部安来支所と連携して新規就農研修を平成24年7月から開始した。

揖屋地区には本格的な研修制度・施設はないが、平成25年度からくにびき農業協同組合が松江農業普及部と連携して「だんだん営農塾」を開講し、くにびきキャベツの後継者育成が行われている。

《くにびきキャベツ》

揖屋地区のキャベツ栽培は、平成元年の売渡 と同時に開始された。平成4年度に産地名『中海』で国の指定野菜産地に指定されるとともに、「くにびきキャベツ」として選果選別の徹底を図ることで高い市場評価を得て大阪市場で銘柄を確立している。

こうした取り組みもあり面積、出荷量が順調に増加し、平成6年度には栽培面積40ha、販売金額1億円を突破したが、販売単価の安い時期が続いたことから平成7年度を境に栽培面積は減少した。

しかしながら、消費者への安全・安心なキャベツの提供のため、農薬使用量の削減やホームページによる栽培・鮮度・健康・安全・おいしさといった情報発信を行ってきた結果、徐々に販売単価も持ち直し、近年はふたたび増加傾向にあり県内で最大の産地となっている。



(6) 営農等に関する動き

□ 企業等の農業参入

これまで個人農家の営農が主体であったが、平成14年以降企業が関係する法人の参入が増加してきた。現在では企業資本の法人は、農業生産法人を含めると11社となっている。

また、参入した法人においては経営規模を拡大する事例もみられる。過去10年以内の参入は次のとおりである。

揖屋地区			安来地区		
年度	法人名	作物	年度	法人名	作物
H21	(株)松本農産	キャベツ	H18	(有)中海ブルーベリーファーム	ブルーベリー
H22	アグリわこう(株)	キャベツ等	H18	安来オーガ(有)	大麦若葉
H23	(株)出雲たかはし	そば等	H21	ハウスプラント(株)	トマト
			H24	イオンアグリ創造(株)	キャベツ等
			H24	(株)ファーム木精	麦等

□ 基盤整備等の実績

干拓地では水はげが収量や品質の向上が不可欠であり、農地の担い手へ集積するためにも暗渠排水の整備が不可欠であった。

そこで、農業体質強化基盤整備促進事業の定額助成制度を活用して暗渠排水の整備を行った。

安来地区では平成23年度に事業採択を受けて平成24年度に整備が完了し、揖屋地区では平成24年度に事業採択を受けて平成26年度までに約125haの工事が予定されている。

農業体質強化基盤整備促進事業（定額助成）の実施状況

事業実施年度	事業実施主体	事業量	事業費
平成23年度～平成24年度	安来市土地改良区	2.1ha	3,150千円
平成24年度～平成26年度	農地・水・環境保全組織	92.5ha	138,750千円

□ 2013中海干拓地クリーン作戦

<揖屋地区>

揖屋干拓地では、農業者が東出雲工業団地等関係者団体と連携し毎年度春と秋の2回クリーン作戦を実施している。

干拓地は農業生産の場であるほか、地域の方が町民農園利用など憩いの場として活用されており、通勤等で干拓地内を通行するなど地域住民と様々な関わりのある場となっている。その一方で、空き缶やごみの投棄が目立つなど景観を損ね、さらに排水機場等にごみが集中して土地改良施設の管理に支障が生じていた。

そこで干拓地のイメージアップのため、平成17年度から揖屋干拓地に関する団体等が協働して清掃活動を行っている。

清掃の終了後は、たまねぎ（さつまいも）の収穫とさつまいも（たまねぎ）の植付けを行い、みんな満足して帰宅の途に就く。

作業内容	幹線道路、潮廻し水路沿いの草刈りや空き缶等ゴミ拾い。
実施主体	揖屋干拓営農協議会、揖屋干拓水土里ネット（揖屋干拓地土地改良区）
参加団体	協同組合東出雲工業団地、西揖屋猛虎会、松江ラジコンクラブ JAくにびき、NPO美しい田園21、町民農園利用者、 ファーマーズマーケット利用者、しまね農業振興公社、行政関係者等
開催日	平成25年6月1日（土）、11月2日（土）



<安来地区>

安来干拓地は、農業生産の場であるほか「なかうみマラソン」のコースになるなど地域住民の交流の場としても利用されている。

しかし、空き缶やごみの投棄が目立ち、景観を損ねるとともに幹線排水路や排水機場にごみが堆積するなど施設の維持、管理に支障が生じていた。

このため、営農者が中心となり平成17年度から干拓地に関係する組織が協力して毎年度マラソン大会の前にクリーン作戦を開催し、干拓地のイメージアップを図っている。

平成25年度は台風の接近通過により予定どおり実施できず、関係者のみでの実施となった。

作業内容	幹線道路、潮廻し水路沿いの空き缶等ゴミ拾い、草刈、球根の植栽など
実施主体	中海干拓安来営農協議会、安来市土地改良区
参加団体	J Aやすぎ、しまね農業振興公社、安来市島田交流センター、行政関係者等
開催日	平成25年10月26日（土）